

対ハイチ共和国国別開発協力方針

平成 29 年 9 月

1 当該国・地域への開発協力のねらい

ハイチは 1804 年にフランスから独立し、米州では米国に次ぐ早さで独立国家となったが、建国以来続いている政治的混乱が国民の生活に影響を与えている。西半球の最貧国（LDC）¹で、社会基盤が脆弱な同国は、2010 年の大地震、2016 年のハリケーンといった自然災害による被害に加え、2010 年以降のコレラ流行等、基礎社会サービスの未確立を要因とする多くの課題に直面している。

ハイチにおいては、貧困ライン前後の国民に対する各種基礎社会サービスの拡充による SDGs の実現に向けた努力を補完する必要性と、一定の生産層等における経済活動の安定化と活発化による経済牽引の必要性の二面における底上げが不可欠となっている。このような状況を踏まえ、2012 年に策定した長期的な開発計画である「ハイチ開発戦略計画（PSDH）」において、同国は 2030 年までに新興国入りするとの目標を掲げている。

基礎社会サービスの確立・充実に加え、政治的安定と社会・経済的安定の達成のためには、経済の活性化と国家財政の健全化が重要となる。その前提として、各種選挙を含めた安定的な政治体制確保はもとより、各種行政能力や体制の強化、そして国際ルールの適用・法制化、司法や治安維持体制等の整備・確立が益々重要な要素となる。

また、度重なる自然災害が人的・社会的・経済的に多大な影響を与えていることから、災害に対する強靱性の向上において、各種災害面における我が国の経験・知見を活かした支援を実施する意義は大きい。

2 我が国の ODA の基本方針（大目標）：基礎社会サービスの確立による社会基盤体制の強化

人道支援を中心とした開発協力の段階から経済発展の段階へと移行し、新興国入りするとのハイチの取り組みを後押しするため、発展の前提となる強固な社会基盤作りを目指し、ハイチにおける基礎社会サービスの確立を中心とした支援を行う。

3 重点分野（中目標）

（1）保健・衛生環境の改善

ハイチでは、基礎的保健医療サービスが国民に十分行き届いておらず、乳幼児死亡率などの指標は中南米カリブ地域では引き続き最も低い水準に留まる。保健医療分野においては、保健医療インフラ整備や、人材育成及び医療機関の運営能力向上を通じた保健サービスの向上を目指す。また衛生分野においては、2010 年以降続いている

¹ 一人あたり GNI：780 ドル（2016 年，世銀）

コレラ等の感染症の効果的な対策のため、安全な水の提供、衛生環境改善のための啓発活動、インフラ整備などに取り組んでいく。

(2) 教育振興

初等教育の就学率は改善傾向にあるものの、学校数は未だ不足しているほか、基礎教育分野での指導者層の質及び量も不足しているのが現状である。公的教育サービスの提供は2割に留まり、全体として必ずしもハイチ政府の基準に則った教育環境整備が進んでいない。経済・社会発展の基礎として、基礎教育及び各種経済活動・社会活動への発展を念頭に、基盤整備及び教員の人材育成への支援を実施していく必要がある。

(3) 農業振興と食料安全保障の強化

農業はハイチの全就業人口の50%以上が従事する重要セクターである一方、生産・流通体制や自然災害の影響で食料自給率は45%程度に留まる。国内消費が輸入農産物に強く依存していることから、国際市場価格の変動は特に貧困層の生活に大きな影響を与えている。食料安全保障及び経済的安定の観点からも、食料・農業分野の支援を実施する必要がある。

(4) 防災・環境保全による経済基盤の強化

2010年の大地震、2016年のハリケーン等、度重なる自然災害が同国の経済発展の阻害要因の一つになっていることから、国内の環境保全に留意しながら、「仙台防災枠組」に則った自然災害への強靱性の向上への取り組みを支援し、以て、国内の経済基盤強化を促進させる。

4 留意事項

- (1) 2017年2月に発足した新政権の下で、各分野における優先課題等が発表されており、今後の各種方針や中長期計画の改定について留意する。また事業の実施にあたっては、ハイチ側実施機関の予算・体制（人員配置等）・事業実績等に留意しつつ計画を策定する。
- (2) 援助協調の枠組みについては、2010年の大地震後に発足した「ハイチ復興暫定委員会」の後続として、現在、ハイチ政府の主導の下に「対外協力調整枠組（CAED）²」にて各ドナー・支援実施機関間の協調・調整が行われているところ、これらの議論に留意し、援助効果の向上に努める。
- (3) ハイチでは、引き続き治安問題が懸念事項であるため、各事業の実施に当たっては安全対策に細心の注意を払う。

(了)

別紙： 事業展開計画

² External Aid Coordination Framework for the Development of Haiti